

プロジェクト運営力育成サービスの提供開始について
～現場を模した“実案件型研修”により、エンジニアの総合実務力を体系的に強化～

システムズ・デザイン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：隈元 裕、以下「当社」）は、エンジニアの PM 力、実務遂行力・コミュニケーション力・品質意識の向上を目的とした「プロジェクト運営力育成サービス」の提供を開始いたします。

本サービスは、プログラミング技術の習得に特化した従来型研修とは異なり、現場を忠実に再現した“実案件型研修”を通じて、プロジェクト運営に必要な総合実務力を体系的に習得する点に特長があります。なお、本サービスはすでにファーストユーザー企業への導入・実施を通じて、一定の成果が得られています。これにより、当社教育サービス事業における今後の事業展開に向けた足がかりとなるものとなります。

■ 背景

企業における DX の推進や IT 活用の高度化・拡大が進む一方で、開発知識や実務経験を十分に有しない若手・中堅社員がプロジェクトを担う機会が増える中で、プロジェクト運営の現場では以下の課題が顕在化しています。

- ・ システム開発の実務経験がないため、成果物の目的・内容・品質・妥当性を十分に理解・評価ができない
- ・ 実装工程やテスト工程に対する理解不足から、委託先とのコミュニケーション不足による、手戻りや遅延リスクの増大
- ・ PL/PM 候補の育成が進まず、マネジメント層の不足が慢性化
- ・ 実務に必要な「説明力・判断力・協働力」が十分に育成されていない

こうした課題は、DX 推進プロジェクトに限らず、既存システムの高度化や IT 活用を目的とした開発・改善プロジェクトにおいても共通して発生しています。

当社は、長年の SI 事業で培ってきたプロジェクトマネジメントの知見を体系化し、現場さながらの環境で実務行動を学べる育成サービスとして本サービスを開発しました。

■ サービスの特長

- ・ 現場を模した「実案件型研修」による運営力の習得

実プロジェクトと同様の会議体、進捗管理、課題整理、成果物レビューを体験することで、「プロジェクトを動かす力」を実践的に身につけます。

- ・ 基本的な実装工程を踏まえたプロジェクト運営力の育成

製造から単体テスト・結合テストまでの基本的な実装工程を体験的に学ぶことで、成果物の目的・内容・品質・妥当性を理解・評価するための基礎的な開発理解を養います。

※特定のプログラミング技術の習得を主目的とするものではありません。

- ・ プロジェクト運営に必要な総合力を体系的に育成

チーム内外のコミュニケーション、リスク・課題の早期発見と対処、品質・納期への理解、説明力・報告力の強化など、技術スキル以前に求められるプロジェクト運営の基礎体力を養成します。

- ・ 会議・報告演習を通じたコミュニケーション力の強化

遅延時の状況説明、リカバリ案の提示、ステークホルダーとの調整など、実務で求められるコミュニケーションを繰り返し実践します。

- ・ 実務で活用できるドキュメント作成力の習得

計画書、WBS（作業計画）、進捗報告書、品質報告書などを自ら作成しレビューを受けることで、実務レベルのアウトプット力を身につけます。

■ 今後の展開

当社は本サービスを、教育領域における成長施策の一つとして位置づけ、今後、以下の展開を予定しています。

- ・ PM/PMO（プロジェクト統括・支援部門）を対象とした育成プログラムの整備により、複数プロジェクトを横断的に管理・統制し、進捗・品質・リスクの可視化や標準化を担う人材の育成を強化するプログラム
- ・ システム開発未経験者を対象とした基礎プログラムの整備により、早期戦力化のための育成プログラム・品質マネジメントに特化した育成コンテンツの拡充を通じて、プロジェクト品質の安定化と再現性向上を支援するサービス
- ・ 研修で活用可能な開発素材・ドキュメント類を体系化した「開発素材集」の整備により、サービス提供の効率化および横展開を推進するサービス

■ お問い合わせ先

システムズ・デザイン株式会社

管理本部 経営企画部 経営企画課 IR 担当

Email : sdcir@sdcj.co.jp